

「IT-MatexⅢ」導入事例
日本コルマー株式会社様

一世紀のノウハウを活かし
国内外のお客様に満足
いただける製品づくりを
続けています



日本コルマー株式会社
取締役 執行役員 生産本部担当
神崎 茂樹様

独自に開発した新しい酵母「アクアライザー」を配合したシリーズ(写真奥の青いパッケージ)など、オリジナルの化粧品も生産



一世紀の歴史が培った
高い技術力と開発力

1912(大正元)年に創業した日本コルマー株式会社様は、国内最大の化粧品OEM=Original Equipment Manufacturing(委託生産)メーカー。国内4カ所の生産拠点と研究所だけでなく、中国や韓国など海外にも進出。国内外の大手化粧品メーカーや製薬会社の有名ブランドコスメ、ドラッグストアで購入できるボディケア、ヘアケアなど幅広い商品の生産を担っています。

「当社には創業から一世紀の歴史が培った膨大なノウハウがあり、それはレシビとして活用されています。例えば、口紅などの色味は、天候などの環境に左右されたり、顔料のロットごよによる色ぶれも影響がでます。そこで色味を合わせる微調整に対応できるのが当社の最大の特長です」と語ってくださいたのは、日本コルマー株式会社 取締役 執行役員 生産本部担当 神崎茂樹様。

さらに同社は、100名以上の開発技術者とマーケティング部を有することから、その開発力と技術力を活かしてODM=Original Design Manufacturing(開発生産)メーカー、総合OEM/サブリティ(開発生産)メーカーとしても高く評価されています。

「今の時代、100円ショップでも化粧品は買えますが、化粧品を自分へのご褒美として購入する方もいらっしゃいます。それぞれの品質はもちろん、パッケージのデザインなど、お客様の化

化粧品に求めるものは以前よりもますます多様化しています。その思いに応える商品づくり。それが当社の役割だと考えております」

レシビを最大限に活用でき
膨大な数の原料の管理も可能に

化粧品業界は日進月歩。原料のナノ化や細胞レベルでの効果をねらったものなど、最先端の研究成果を活用した新製品が毎シーズン発表されています。

当然、同社が対応する数も増え、商品自体のクオリティも求められる中、工場のトレーサビリティ化を考え始めたのは、2008年1月のことでした。

「私たちが取り扱う原料の数はざっと7000点ほど。製品の中で多いものでは30点以上の原料が配合され、中には最後の二文字が違っただけの名前が似ている原料もあります。形状も容器が

安心して
計量できるよう
になりました



柏原工場 柏原計量部
マネジャー
横田 彰平様

ら出すと見分けがつかないものが多く、非常に取り換えやすいんです。さらに、原料はただ加えて混ぜればよいというわけではありませんが、脂に入れるタイミングや温度、混ぜ方にも細かいノウハウがあります」

トレーサビリティシステムもさまざまなメーカーを見ていく中で、すでに導入していた計量器がそのまま使用できることもあり、2010年に「IT-Matex」の導入に至りました。

「トレーサビリティ化によって当社の最大の武器である膨大なレシビを最大限に活かすことができるようになる。同時に、原料の有効期限などを管理することも可能になりました」



日本コルマー株式会社
NIHON KOLMAR CO., LTD.

日本コルマー株式会社 柏原工場
大阪府柏原市円明町16番2号
TEL(工場)072-977-9440 (研究所)072-977-9431
<http://www.kolmar.co.jp/>



